

令和 7 年度日本財団電話リレーサービス 体験登録会の共催団体の募集について

1. 趣旨

電話リレーサービス、ヨメテルの普及啓発を目的に、サービスの利用が初めての人や登録を検討している人を対象に、仕組みや利用方法、電話のマナー、登録の手続きについて解説する。また、希望者には登録サポート（オンライン開催は除く）を実施する機会とする。

2. 主催

一般財団法人日本財団電話リレーサービス

3. 開催回数

令和 7 年度中に 40 回

4. 応募対象団体

全日本ろうあ連盟加盟団体、全日本難聴者・中途失聴者団体連合会または情報提供施設、自治体等のサービスの利用当事者と関連のある団体

※全日本ろうあ連盟加盟団体が情報提供施設運営を受託している場合は、どちらかの団体でのご応募をお願いいたします。

5. 募集期間

随時

6. 内容

講演 60 分、休憩 10 分、質疑応答 30 分（計 100 分程度） ※要望により調整可

- ・各サービスの仕組み ・電話を使う場面
- ・各サービスの使い方 ・利用料金
- ・登録サポート（対面開催の場合、電話リレー用番号の即日発行が可能です）
- ・サービス利用時のマナー ・電話を使う場面（事例をもとに説明）
- ・遠隔通訳、代理電話との違い ・登録情報の変更方法

7. 開催方法

記号	形式	財団が行うこと	申請団体が行うこと
A	対面	講師を会場へ派遣し講義形式で実施、デモ体験（未登録の方を優先） 講演終了後、希望者に対し個別に登録サポート	県内の聴覚障害者への呼びかけ、参加申し込みの受付 会場の確保、準備、および情報保障
B	ハイブリッド	Zoom にて講義形式で実施	県内の聴覚障害者への呼びかけ、参加申し込みの受付 会場の確保、準備 会場での登録方法などの相談対応 ※参加者は指定された会場に集合 ※Zoom をスクリーンに投影（インターネット接続が必要です）
C	オンライン	Zoom にて講義形式で実施	県内の聴覚障害者への呼びかけ 講演中の司会 事前に質問を集め、講演終了後、講師に対し代表質疑を行う

8. 応募資料

- ・開催概要案（開催希望日、開催時間、会場、定員、開催形式（対面、ハイブリッド、オンラインのいずれか）、周知方法等）
※開催希望日は3候補程度あげてください。
- ・開催経費明細（見込）

9. 対象経費

開催経費は当財団で負担いたします。以下、対象となる経費です。

- ・人件費
- ・会場費
- ・情報保障費（手話通訳、要約筆記等の手配費用）
- ・備品費（プロジェクター、スクリーン、マイク等のレンタル費用）
- ・その他、必要と思われる経費

10. その他

- ・開催の決定については、申込数に合わせて調整いたします
- ・体験登録会の未実施地域は優先します。
- ・オンライン開催の場合、Zoom で個人参加の形となるため、開催県以外の都道府県からも参加者募集を実施してください。
- ・対面、ハイブリッドの各会場の参加規模などについては、新型コロナウイルス感染症の影響等を鑑み、情報提供施設と相談の上設定するものとします。

11. 問い合わせ先

一般財団法人 日本財団電話リレーサービス 講習会担当

メール manabu@nftrs.or.jp

普及啓発員事業の募集との違いについて

本件とは別に、普及啓発員事業の募集を行っています。同募集に係る実施内容においても、普及啓発員による説明会・登録会についての取組が記載されていますが、本件の体験登録会と以下の点で違いがございます。

	本件の募集	普及啓発員の募集
開催規模	中規模～大規模想定	小規模～中規模想定
主催	日本財団電話リレーサービス	受託した法人 (相談の上で、当財団とすることも可)
開催回数	各地で1回	都道府県内にて複数回
講演者	当財団職員	普及啓発員 (相談の上で、当財団職員も可)